

大黒屋光太夫開館20周年

令和7年度 大黒屋光太夫記念館特別展 芝蘭堂新元会と蘭学の時代

漂流と知の邂逅

DAIKOKUYA KODAYU MEMORIAL MUSEUM



2026年 入場無料
1月22日(木)~3月15日(日)

●開館時間：10:00~16:00
●休館日：月曜日
(2/23は開館)
火曜日・第3水曜日

【展示解説】
日時：2月13日(金) 13:30~
参加申込不要 / 参加費無料

■主催／鈴鹿市
■助成／公益財団法人 岡田文化財団
■大黒屋光太夫記念館
〒510-0224 三重県鈴鹿市若松中一丁目1-8
TEL・FAX 059-385-3797



交通案内
●近鉄/
名古屋線伊勢若松駅下車
徒歩15分(1.2km)
●車/鈴鹿ICから約40分
●駐車場 / 無料

令和7年度 大黒屋光太夫記念館特別展 漂流と知の邂逅 -芝蘭堂新元会と蘭学の時代-

江戸時代中期、ロシアへ漂流し、10年の歳月を経て帰国した大黒屋光太夫。彼の異国での体験は、日本の知識人たちとつなげ蘭学者に大きな衝撃を与えました。書物から学ぶ知識にとどまっていた蘭学は、光太夫の実体験を通じて「世界を知る学問」へと進化していったのです。

本展では、《芝蘭堂新元会図》を手がかりに、帰国後の光太夫と知識人たちの交流をたどります。漂流という偶然的出来事が、近代的世界観の芽生えへとつながったことを紹介します。



◀「解体新書」1774
岐阜県歴史資料館寄託
(江島家資料)



「一角纂考」1795 ▶
神戸大学附属社会科学系図書館



芝蘭堂新元会図 紙石版墨塗刷
明治35年(1902) 鈴鹿市

詳しくはこちらから



〒510-0224 三重県鈴鹿市若松中一丁目1-8
Tel & Fax 059-385-3797

第1回 SUZUKA Kodayu Sauna Day

一千年に一度の「サウナ記念日」、
ようこそ光太夫のサウナへ

2026.3.7(土)
サウナの日 ◆大黒屋光太夫記念館 周辺



大黒屋光太夫(左)



1793年に帰国に際しての
サウナの図(右)

サウナ体験、記念講演などを行います。
詳しくは広報すずか2月20日号、文化財Face bookなどで告知します

2026年は「026=お風呂の年」、
そして3月7日は「千年に一度」の特別な「サウナの日」
サウナの本場・フィンランドと日本をつないだ最初の架け橋—それは、大黒屋光太夫とラクスマンの友情でした。1792年、光太夫の帰国とともに、はじめて日本にサウナが紹介され、そして今、光太夫の故郷・鈴鹿で、その歴史にちなんだ新たな地域イベントが誕生します。
サウナのあとは、光太夫ゆかりの紅茶を。心と体を芯から癒す、「どこのい余韻」を体験していただけます。
千年に一度のサウナの日に、湯気と茶香に包まれて、光太夫とラクスマンの物語が動き出します。

主催：鈴鹿市 フィンランド政府観光局 大黒屋光太夫顕彰会